

令和 7 年度 第 3 回 紿食施設従事者研修会

# 「加齢性嚥下障害に対する食事支援」

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会 副会長  
福岡国際医療福祉大学 言語聴覚学科  
吉永 明史

# 本日の話し

1. 正常な摂食嚥下の流れ
2. 加齢による摂食嚥下機能の変化
3. 摂食嚥下機能を支える要素
4. 支援事例の紹介

# 本日の話し

1. 正常な摂食嚥下の流れ
2. 加齢による摂食嚥下機能の変化
3. 摂食嚥下機能を支える要素
4. 支援事例の紹介

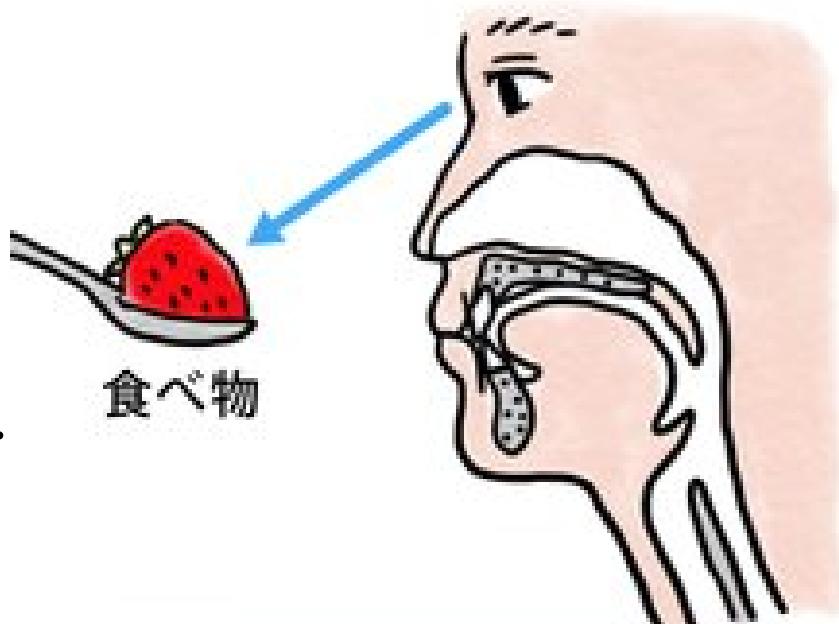
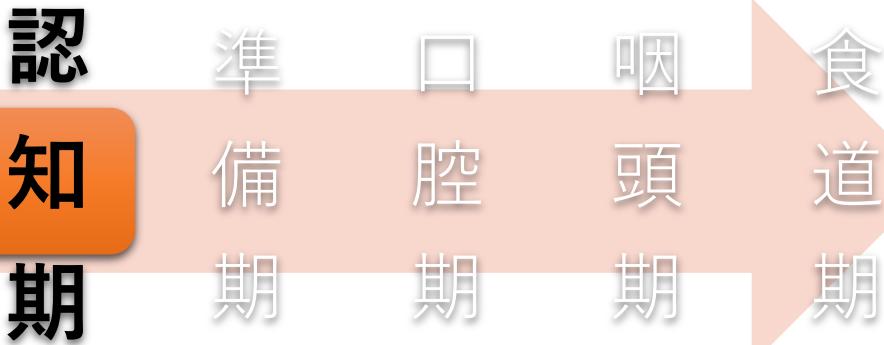
# 正常な摂食嚥下の流れ



# 認知期

## ○認知期の役割

- ・食物の形, 量, 質などを認識し, 食べる準備をする.
- ・過去の記憶(経験)と照合し, 味, 食感などを予測する.
- ・一口量や食べる速さを調整する.



# 準備期

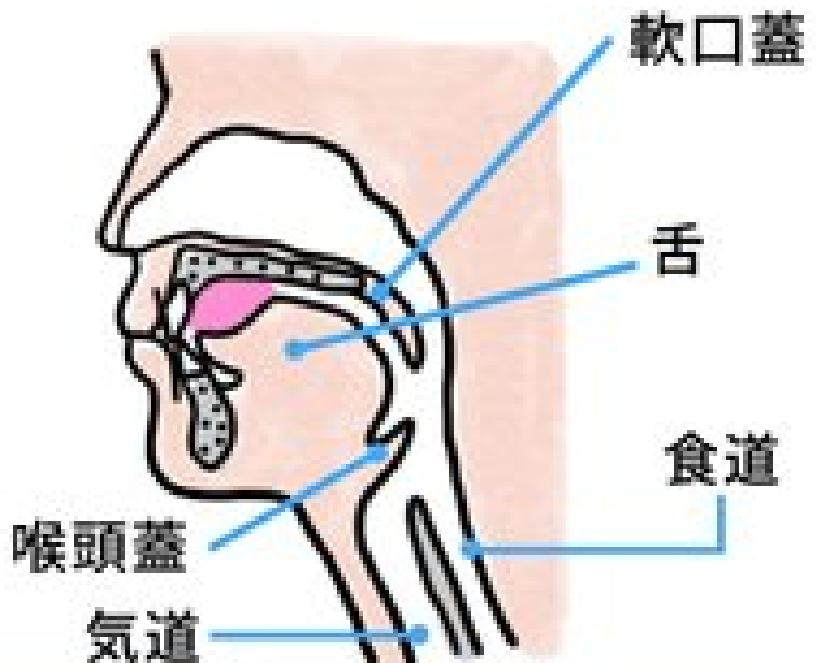
準  
備  
期

口腔期  
咽頭期

食道期

## ○準備期の役割

- ・食物の取込み.
- ・嚥下しやすい形に咀嚼する.
- ・咀嚼した食物を口腔内でまと  
食塊を形成する.



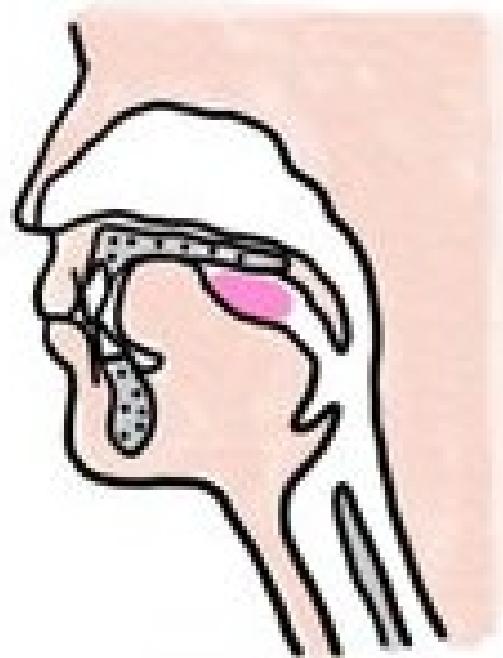
## 口腔期

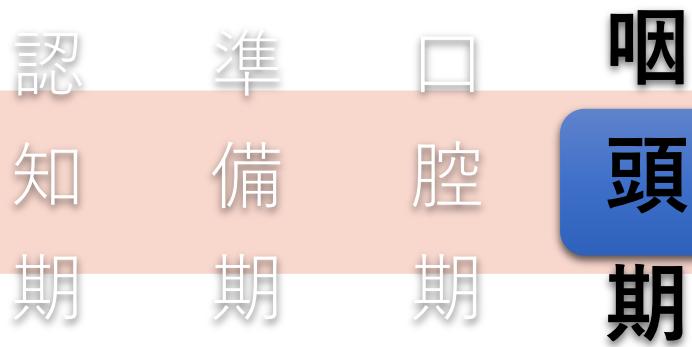
### ○口腔期の役割

- ・食塊を **口腔**から **咽頭**にへ送り込む。

※水分はいっきに送り込む

※ 固形物(咀嚼が必要)は咀嚼が  
終わった食物から少しづつ  
送り込む。

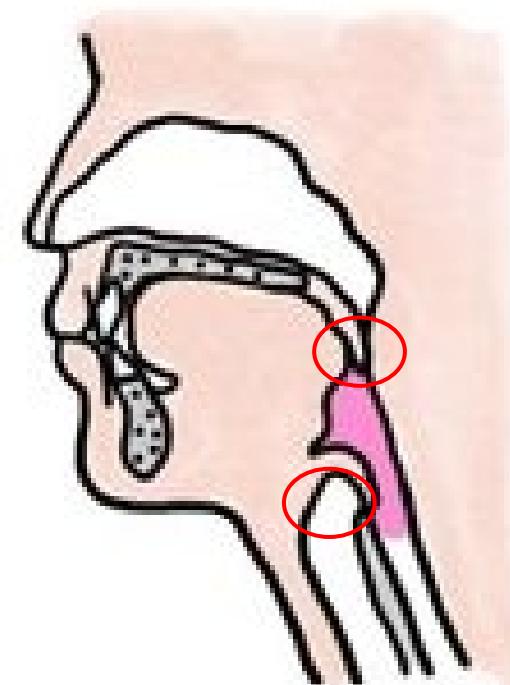




## 咽頭期

### ○咽頭期の役割

- ・奥舌の押し込み、鼻咽腔閉鎖、喉頭閉鎖を行う。
- ・舌骨・喉頭挙上により食道入口部を開く。
- ・咽頭収縮により食塊を食道へ押し込む。



# 食道期

## 食道期



### ○食道期の役割

- ・蠕動運動により食塊を胃まで移送する。
- ・胃からの逆流を防ぐため普段は縮小している。

